

2011年3月期 決算説明資料

2011年5月12日

株式会社CSK

目 次

業績サマリー	P2
決算のポイント.....	P3
販売管理費、営業外損益、特別損益の内訳...	P5～ 6
セグメント別業績.....	P7～11
キャッシュ・フロー	P12
有利子負債の残高.....	P13
2012年3月期 通期業績予想.....	P14

<免責事項>

本資料は、業績及びグループ事業戦略に関する情報の提供を目的としたものであり、CSK及び当社グループ会社の株式の購入や売却を勧誘するものではありません。本説明会及び資料の内容には、将来の業績に関する意見や予測等の情報を掲載することがありますが、これらの情報は、資料作成時点の当社の判断に基づいて作成されております。よって、その実現・達成を約束するものではなく、また今後、予告なしに変更されることがあります。本資料利用の結果生じたいかなる損害についても、当社は一切責任を負いません。また、本資料の無断での複製、転送等を行わないようお願い致します。

業績サマリー



(単位: 億円)

	2010/3	2011/3	前期比	増減率
売上高	1,695	1,403	△291	△17.2%
売上総利益	529	328	△200	△37.9%
売上総利益率	31.2%	23.4%	△7.8%	-
販売管理費	487	258	△229	△47.0%
営業利益	41	70	28	67.7%
営業利益率	2.5%	5.0%	2.5%	-
経常利益	29	32	3	12.2%
当期純利益	△591	△77	514	-

(単位: 円)

	2010/3	2011/3	前期比
1株当たり 当期純利益	△720.62	△61.26	659.36
1株当たり純資産	△241.34	△234.13	7.21

■ 売上高、営業利益

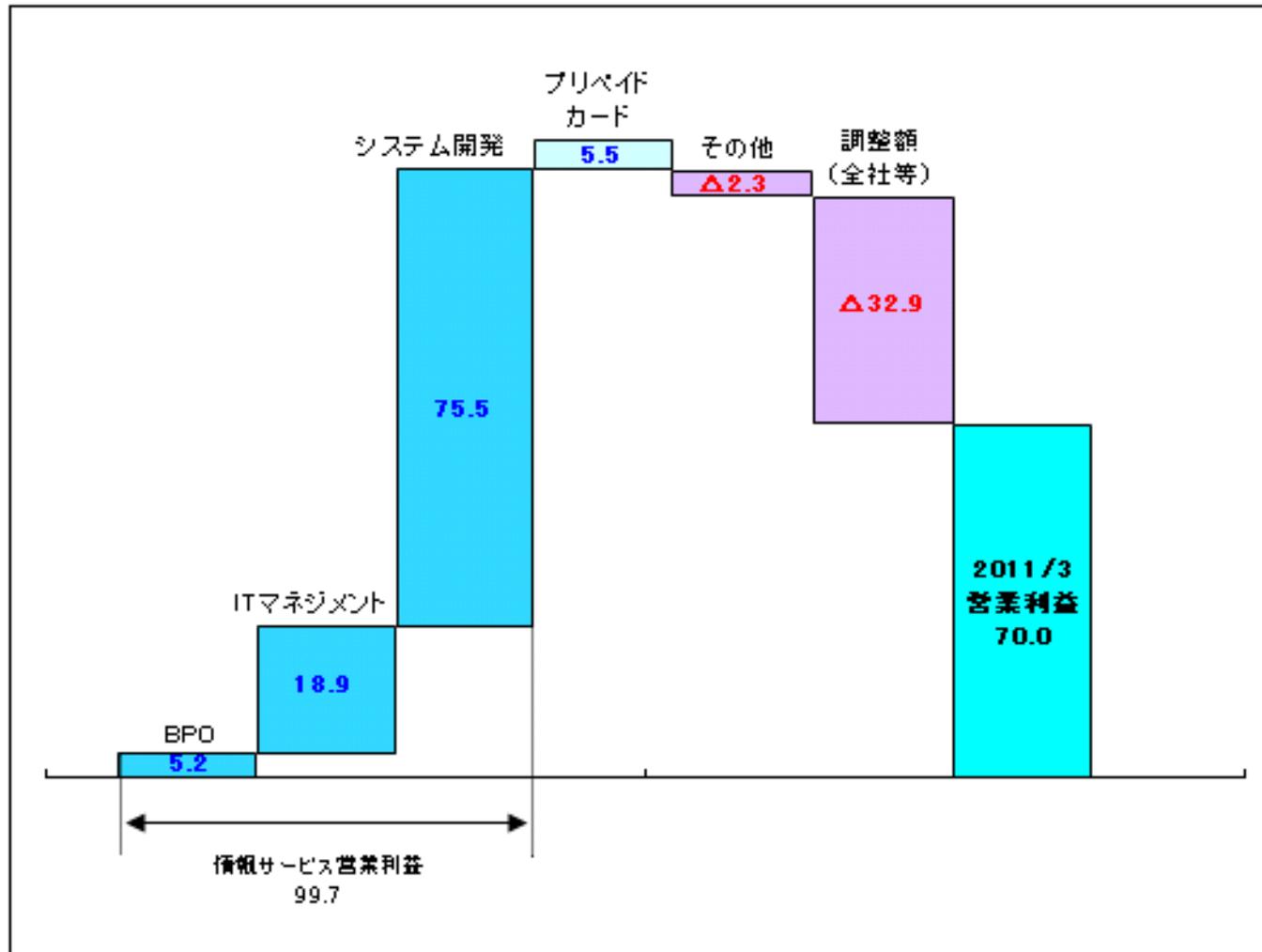
- ・ 売上高は、情報サービス事業への集中および金融系事業からの撤退等の方針実行に伴う売上高減少（コスモ証券の譲渡等△203億円）、景気の先行き不透明感による顧客企業の投資案件先送り、株式市況の低迷に伴う証券会社向けサービスの減少等の影響により、前期比△17.2%の減収。
- ・ 営業利益は、前期より取り組んだ金融サービス事業からの撤退、コスト構造の見直し等により、前期比+67.7%の増益となり、営業利益率は2.5ポイント改善の5%に。

■ 受注高、受注残高

- ・ 受注高は、下期に入り受注改善の傾向がみられるも、上期低迷の影響から情報サービス全体では前期比微減（△1.3%）となる。
- ・ 一方、受注残高は、下期を中心にサービス、商業、化学・医薬、金融分野での受注に改善傾向がみられ、受注残高の前期比は、BPO+26.3%、ITマネジメント+10.3%、システム開発+2.2%となり、情報サービス全体では、+8.8%。

■ 営業利益のセグメント別内訳

(単位: 億円)



販売管理費・営業外損益の内訳



(単位: 億円)

販売管理費	2010/3	2011/3	前期比	備考
人件費	242.5	137.4	△105.1	証券事業撤退、早期退職優遇制度の実施による人員削減及び残業削減による減少
業務委託料	36.3	10.2	△26.1	主に証券事業からの撤退及びコスト構造の見直しによる減少
減価償却費	32.2	18.2	△13.9	事業撤退及び固定資産の減損に伴う減少
家賃	47.0	22.4	△24.5	オフィス統廃合及び賃料見直しによる減少
その他	129.2	69.9	△59.2	主な内容: 支払手数料、消耗品費 等
販売管理費 計	487.4	258.2	△229.1	

営業外収益	2010/3	2011/3	前期比	備考
受取利息	0.7	0.8	0.0	-
受取配当金	1.9	0.4	△1.5	保有有価証券に係る配当金の減少
カード退蔵益	10.8	11.6	0.8	-
投資有価証券売却益	-	6.4	6.4	資産のスリム化に伴う投資有価証券の売却
その他	7.2	5.4	△1.8	主な内容: 助成金、地代・家賃、奨励金 等
営業外収益 計	20.8	24.8	3.9	

営業外費用	2010/3	2011/3	前期比	備考
支払利息	6.9	9.4	2.4	前期: 金融サービス事業にかかる原価として計上
退職給付費用	2.6	2.6	△0.0	会計基準変更時差異の償却額
株式交付費	4.8	-	△4.8	前期: 株式発行に伴う費用
支払手数料	6.0	-	△6.0	前期: 借入金の長期化に伴う費用
匿名組合投資損失	5.2	-	△5.2	匿名組合投資に係る損失
貸倒引当金繰入額	-	24.9	24.9	貸付債権に対する貸倒引当金の追加計上 (参考: 第3四半期時 21.5億円)
投資有価証券売却損	-	10.9	10.9	資産のスリム化に伴う投資有価証券の売却
その他	7.6	14.0	6.3	主な内容: 投資有価証券評価損、投資事業組合損失、匿名組合投資損失、証券代行手数料 等
営業外費用 計	33.3	62.1	28.7	
営業外損益 Net	△12.5	△37.2	△24.7	

特別損益の内訳

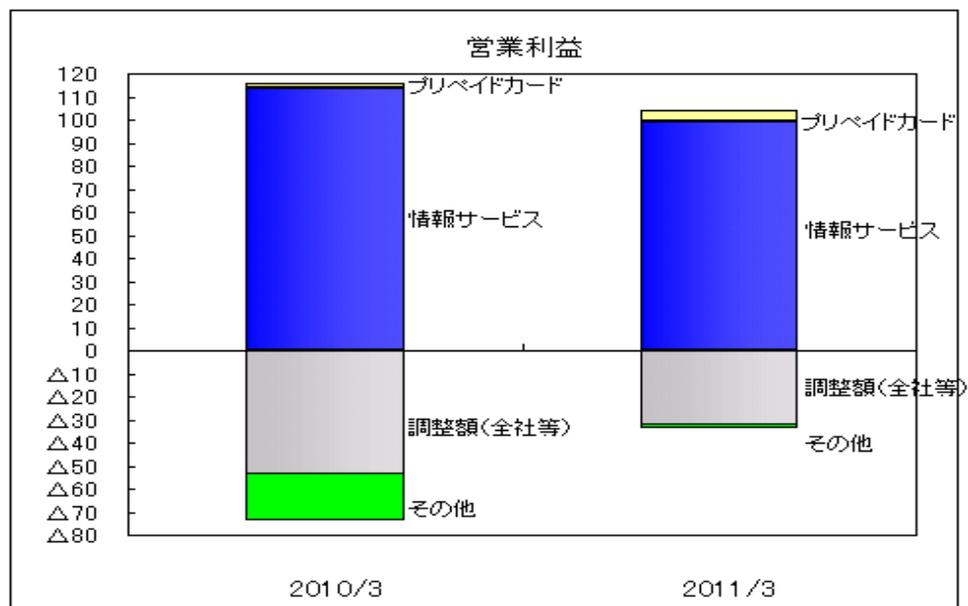
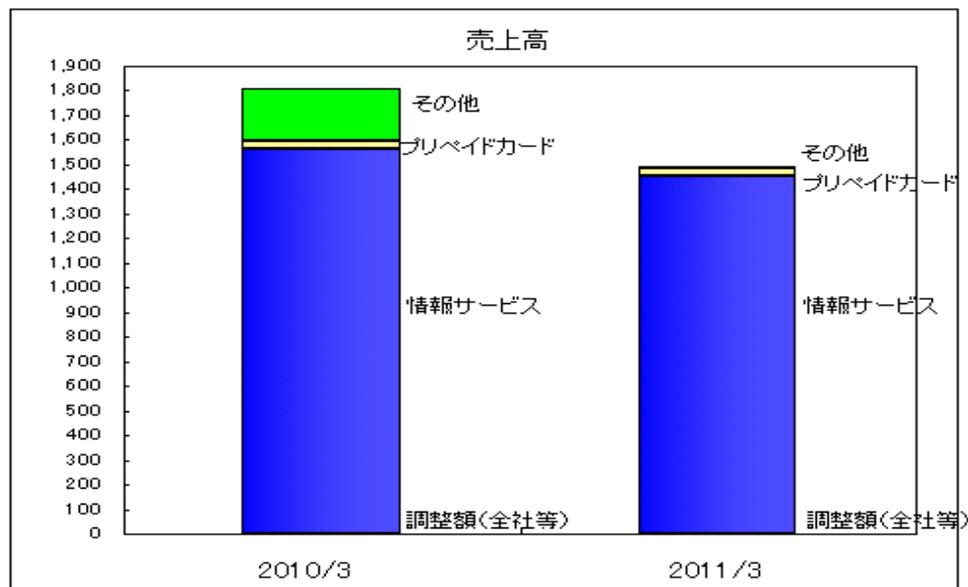


(単位:億円)

特別利益	2010/3	2011/3	前期比	備考
投資有価証券売却益	8.3	2.1	△6.2	保有有価証券の売却
貸倒引当金戻入額	-	0.8	0.8	貸倒引当金の戻入益
事業譲渡益	1.8	-	△1.8	前期:子会社事業の譲渡益
金融商品取引責任準備金戻入益	1.8	-	△1.8	前期:金融商品取引法施行に伴う金融商品取引責任準備金の戻入益
その他	4.6	0.7	△3.8	前期:税金戻入等
特別利益 計	16.6	3.7	△12.8	
特別損失	2010/3	2011/3	前期比	備考
減損損失	-	30.0	30.0	資産のスリム化に伴う事業用資産等の減損及び子会社に係るのれんの減損
証券事業撤退損失	-	89.0	89.0	証券事業撤退に係る損失
不動産証券化事業撤退損失	559.4	-	△559.4	前期:不動産証券化事業撤退に係る損失
特別退職金	28.0	-	△28.0	早期退職優遇制度に伴う割増退職金及び再就職支援費用
その他	53.5	29.0	△24.5	主な内容:投資有価証券売却損、諸手数料、早期退職優遇制度に係る特別退職金、事業撤退関連損失、資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額等
特別損失 計	640.9	148.1	△492.8	
特別損益 Net	△624.3	△144.3	480.0	

セグメント別業績

(単位:億円)



(単位:億円)

	2010/3	2011/3	前期比	増減率
情報サービス				
売上高	1,564	1,451	△112	△7.2%
営業利益	114	99	△14	△12.8%
プリペイドカード				
売上高	31	35	4	12.6%
営業利益	2	5	3	139.9%
その他				
売上高	213	4	△208	△97.8%
営業利益	△21	△2	19	-
調整額(全社等)				
売上高	△114	△88	26	-
営業利益	△53	△32	20	-
合計				
売上高	1,695	1,403	△291	△17.2%
営業利益	41	70	28	67.7%

※当期より、「セグメント情報等の開示に関する会計基準」及び「セグメント情報等の開示に関する会計基準の適用指針」を適用しており、過年度の数値は、当該会計基準適用後のセグメントに組替えています。

※情報サービスは、報告セグメントのうちBPO・ITマネジメント・システム開発を合算したものです。

※その他は、報告セグメントに含まれない「ベンチャーキャピタル事業、投資信託委託業等」であり、前期には証券事業を含んでいます。

■ 情報サービス



(単位: 億円)

		2010/3	2011/3	前期比	増減率
BPO	売上高	304	311	7	2.4%
	営業利益	4	5	0	6.9%
	営業利益率	1.6%	1.7%	0.1%	-
ITマネジメント	売上高	359	310	△49	△13.8%
	営業利益	24	18	△5	△22.6%
	営業利益率	6.8%	6.1%	△0.7%	-
システム開発	売上高	900	829	△70	△7.8%
	営業利益	85	75	△9	△11.2%
	営業利益率	9.4%	9.1%	△0.3%	-
情報サービス	売上高	1,564	1,451	△112	△7.2%
	営業利益	114	99	△14	△12.8%
	営業利益率	7.3%	6.9%	△0.4%	-

情報サービス : 売上高 △7.2%、営業利益 △12.8%

電気・精密や輸送用機器向け等一部増加もみられるが、主に金融・保険向けや通信が減少し減収・減益。

BPO : コンタクトセンター事業および検証事業において、既存顧客の拡大により増収。
事業拡大に向けた先行費用の増加により営業利益は横ばい。

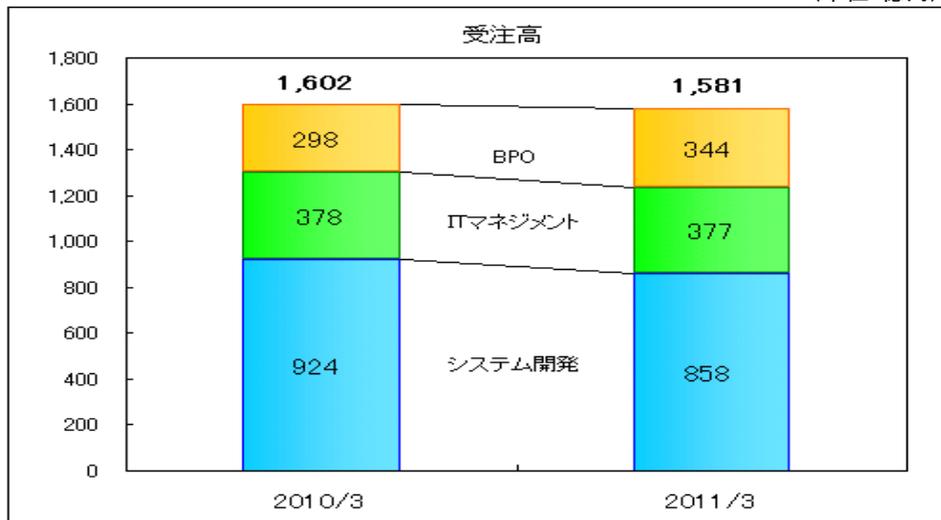
ITマネジメント : データセンター関連は順調に推移するも、システム運用や機器販売の減少により減収減益。

システム開発 : 証券会社向けサービスの減少、金融・保険等での投資案件の先送り等により減収減益。

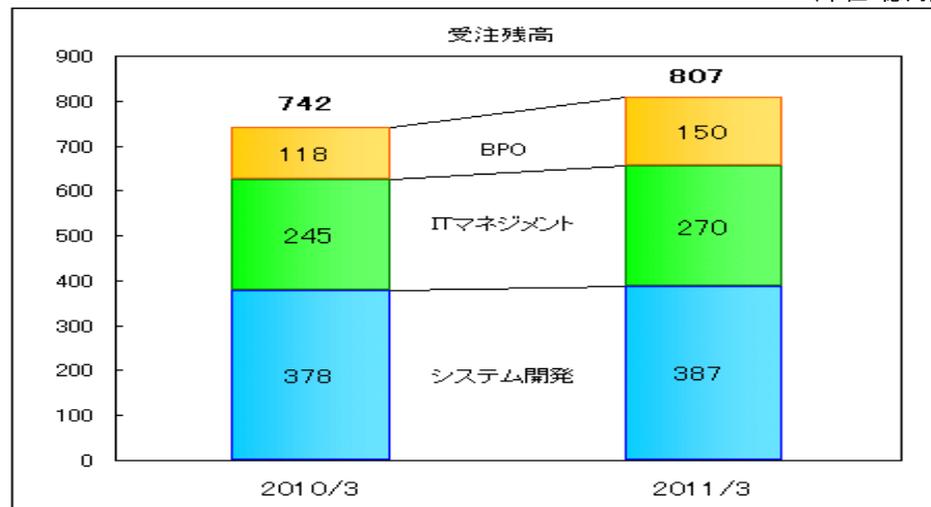
■ 情報サービス —受注高、受注残高—



(単位:億円)



(単位:億円)



受注高 : △20億円 △1.3%(上期△62億円△8.1%、下期+41億円+5.0%)

BPO : +46億円 +15.5%
 (上期+30億円+25.2%、下期+16億円+9.0%)
 ソフトウェアベンダーや電子機器メーカー等において
 年間通じ受注案件が拡大。

ITマネジメント : △0.8億円 △0.2%
 (上期△2億円△1.2%、下期+1億円+0.6%)
 上期のビハインドを、下期のアウトソーシング案件の
 積み上がりでカバーし、ほぼ前期並み。

システム開発 : △66億円 △7.2%
 (上期△90億円△18.8%、下期+24億円+5.5%)
 上期の証券会社向けの影響大きく、通期でマイナス。
 ただし、下期は受注案件増加し、前期比プラスを確保。

受注残高 : +65億円、+8.8%

BPO : +31億円、+26.3%
 PCメーカー、ソフトウェアベンダー向け
 テクニカルサポートが拡大。

ITマネジメント : +25億円、+10.3%
 3Q会計期間に大型のアウトソーシング案件獲得に
 より増加。

システム開発 : +8億円、+2.2%
 損保向けを中心とした金融・保険向けが
 増加し、受注残はプラス。

■ 情報サービス ー業種別売上高（外部売上）ー

（単位：億円）

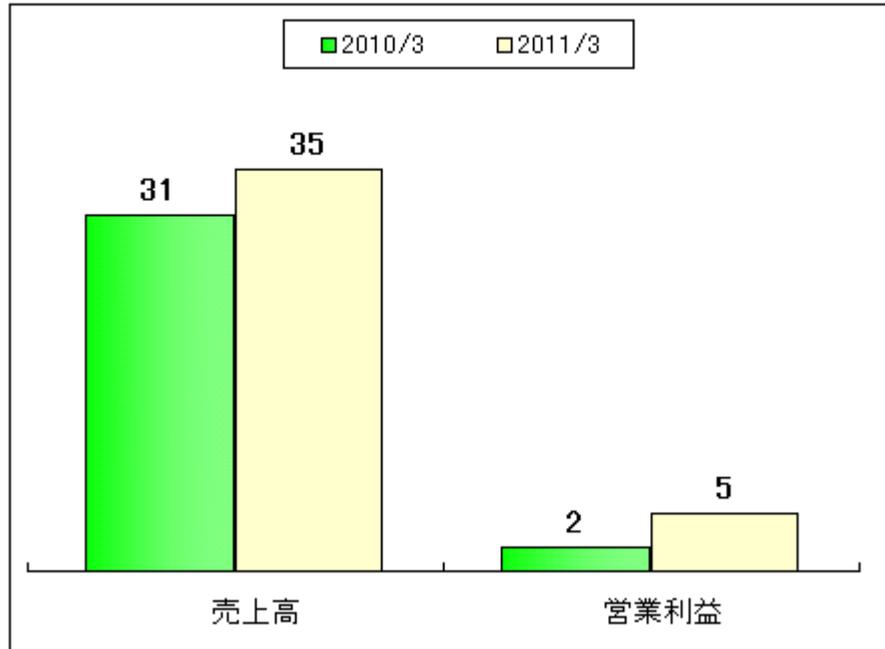
	2010/3	構成比	2011/3	構成比	前期比	増減率
金融・保険等	493	34.0%	435	31.9%	△58	△11.8%
電気・精密	168	11.6%	167	12.3%	△1	△0.6%
商社・卸売業・小売業	134	9.3%	129	9.5%	△4	△3.5%
通信	133	9.2%	118	8.7%	△15	△11.5%
サービス	126	8.7%	127	9.3%	1	0.6%
化学・医薬品	79	5.5%	82	6.1%	3	4.0%
ソフトウェアベンダー	33	2.3%	34	2.5%	1	3.5%
輸送用機器・機械	70	4.8%	76	5.6%	6	9.2%
その他製造	43	3.0%	41	3.0%	△1	△3.5%
建設	29	2.0%	25	1.9%	△4	△14.0%
運輸・旅行	17	1.2%	18	1.4%	1	11.0%
その他	123	8.5%	107	7.9%	△15	△12.7%
合計	1,451	100.0%	1,364	100.0%	△87	△6.0%

※ 業種別売上高は、「BPO」「ITマネジメント」「システム開発」の合算値

■ プリペイドカード、その他

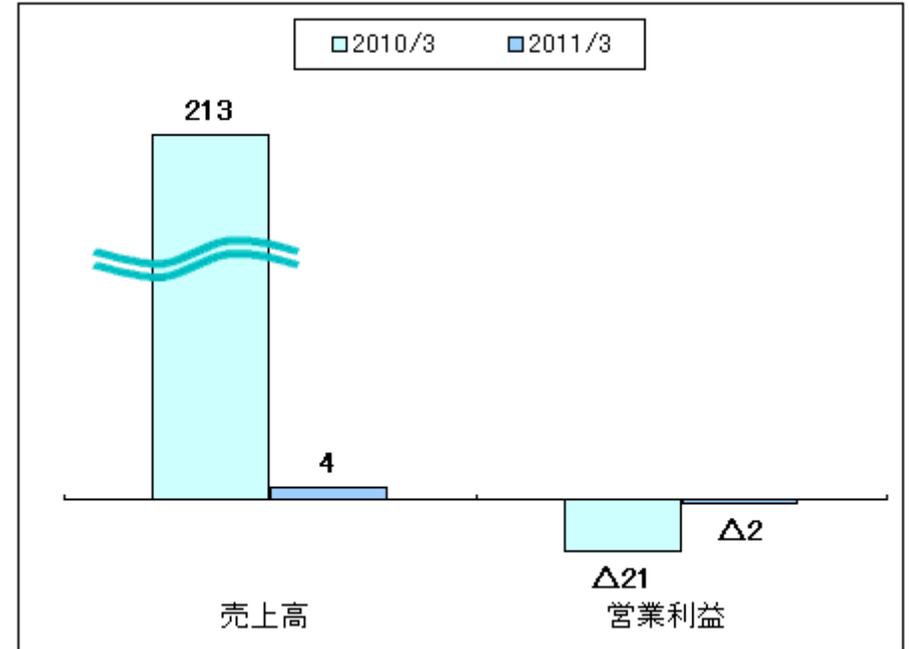
プリペイドカード

(単位:億円)



その他

(単位:億円)



※報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、ベンチャーキャピタル事業、投資信託委託業等を含んでいます。また、前期は証券事業を含んでいます。

プリペイドカード : 売上高 +12.6%、営業利益 +140.0%

・クオカード利用可能な加盟店店舗数の増加施策やギフトカードの発行増加、加えて、エコポイントの交換需要等により、カード発行関連売上、機器販売、カード預り金運用収益が増加し、増収・増益。

その他 : 売上高 △97.8%、営業損失 2億円

コスモ証券を連結除外したことにより、減収。
金融サービス事業の撤退により、赤字が縮小。

■証券事業、金融サービス事業からの撤退の進捗状況
2010/4 コスモ証券 全株式を譲渡
2010/9 CSKベンチャーキャピタル 持分法適用会社へ
2010/10 プラザアセットマネジメント 全株式を譲渡

(単位:億円)

	2010/3	2011/3	前期比	備考
営業キャッシュ・フロー	55	142	87	コスト構造の見直しや不採算事業からの撤退による営業利益の改善に加え、カード預り金の増加や支払利息の減少によりプラス
投資キャッシュ・フロー	65	39	△25	投資有価証券の取得による支出はあったが、有価証券の売却による収入や短期貸付金の回収等によりプラス
財務キャッシュ・フロー	△19	△114	△95	株式の発行による収入等はあったが、長期借入金の返済による支出によりマイナス
キャッシュ・フロー 計	95	67	△27	換算差額含む
現金及び現金同等物	433	487	53	

有利子負債の残高

(単位: 億円)

	残高		増減
	2010/3	2011/3	
借入金	450	298	△151
ユーロCB	217	217	-
国内CB	350	350	-
返済合計			
有利子負債 残高	1,017	866	△151

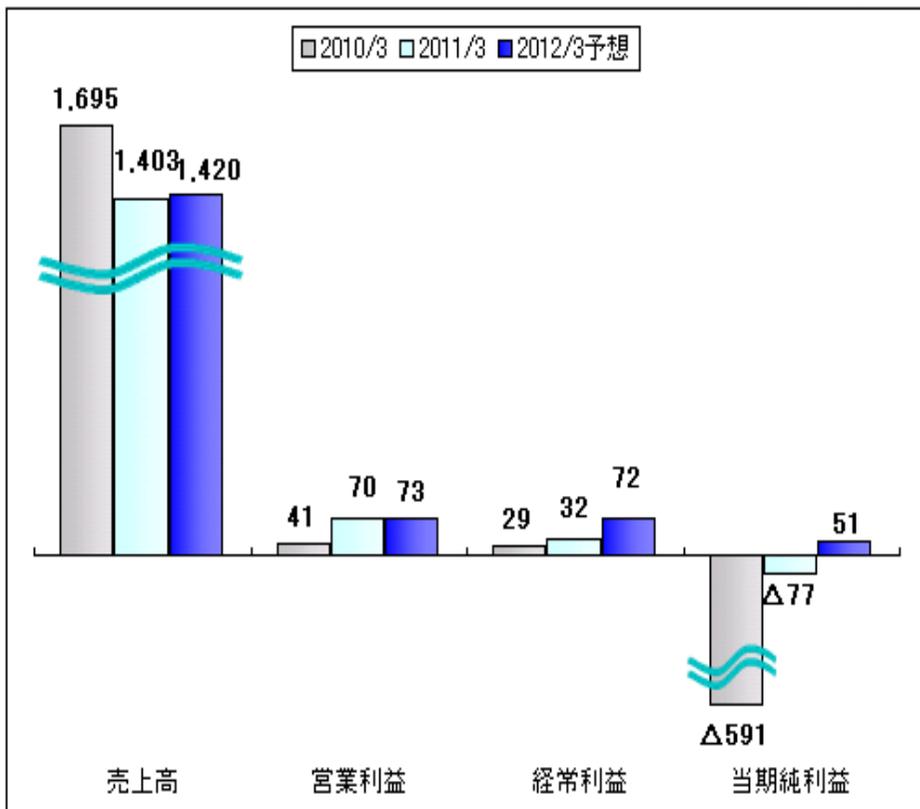
返済計画		
2012/3	2013/3	2014/3
100	100	98
217	-	-
-	-	350
317	100	450
548	448	-

※ CSK単体の有利子負債額

2012年3月期 通期業績予想



(単位: 億円)



(単位: 億円)

	2010/3	2011/3	2012/3予想	前期比	増減率
売上高	1,695	1,403	1,420	16	1.1%
営業利益	41	70	73	2	4.2%
営業利益率	2.5%	5.0%	5.1%	0.2%	-
経常利益	29	32	72	39	121.3%
当期純利益	△591	△77	51	128	-

(単位: 円)

	2010/3	2011/3	2012/3予想	前期比
1株当たり利益	△720.62	△61.26	34.39	95.65

2012/3月期 連結業績予想

・売上高および営業利益

東日本大震災による顧客のIT投資への影響が懸念されるなか、「BCP(企業継続計画)」への関心が強くなると想定され、当社グループのITマネジメント事業へのニーズは高まるものと見込んでおり、事業・原価構造の見直し、販管費適正化も着実に進んでいることから、上表のとおりと計画しております。

・経常利益および当期純利益

営業利益までの要因に加え、前期に進めた資産のスリム化、および事業撤退等の影響により、大きく改善する見通しです。